

水循環再生の取組

あいち水循環再生基本構想と 水循環再生地域協議会



1

あいち水循環再生基本構想と 水循環再生地域協議会

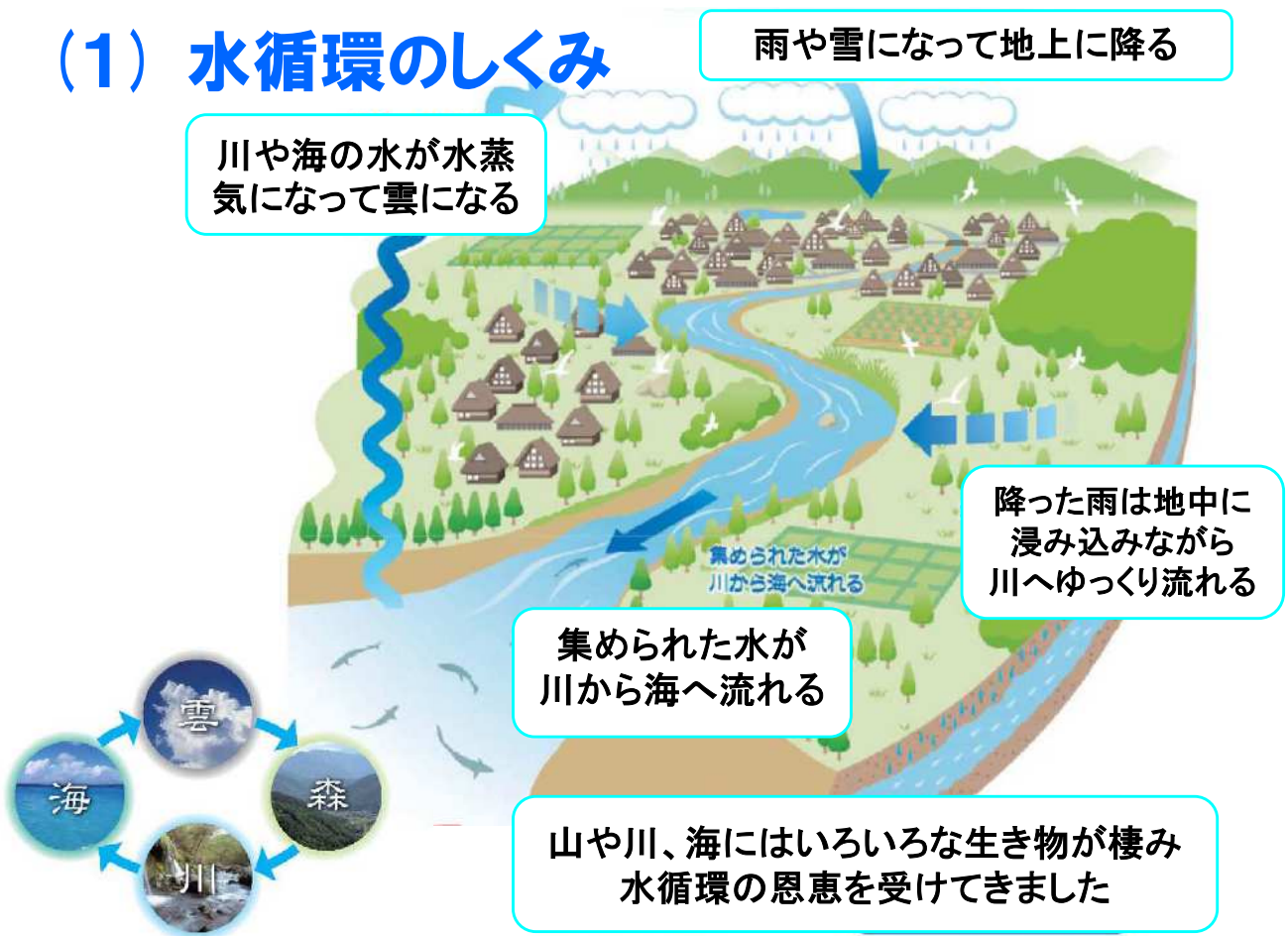
- 1 水循環の再生
- 2 愛知県の水環境の状況
- 3 愛知県の水質保全施策
- 4 あいち水循環再生基本構想
- 5 水循環再生のための取組
- 6 流域モニタリング一斉調査

2

1 水循環の再生

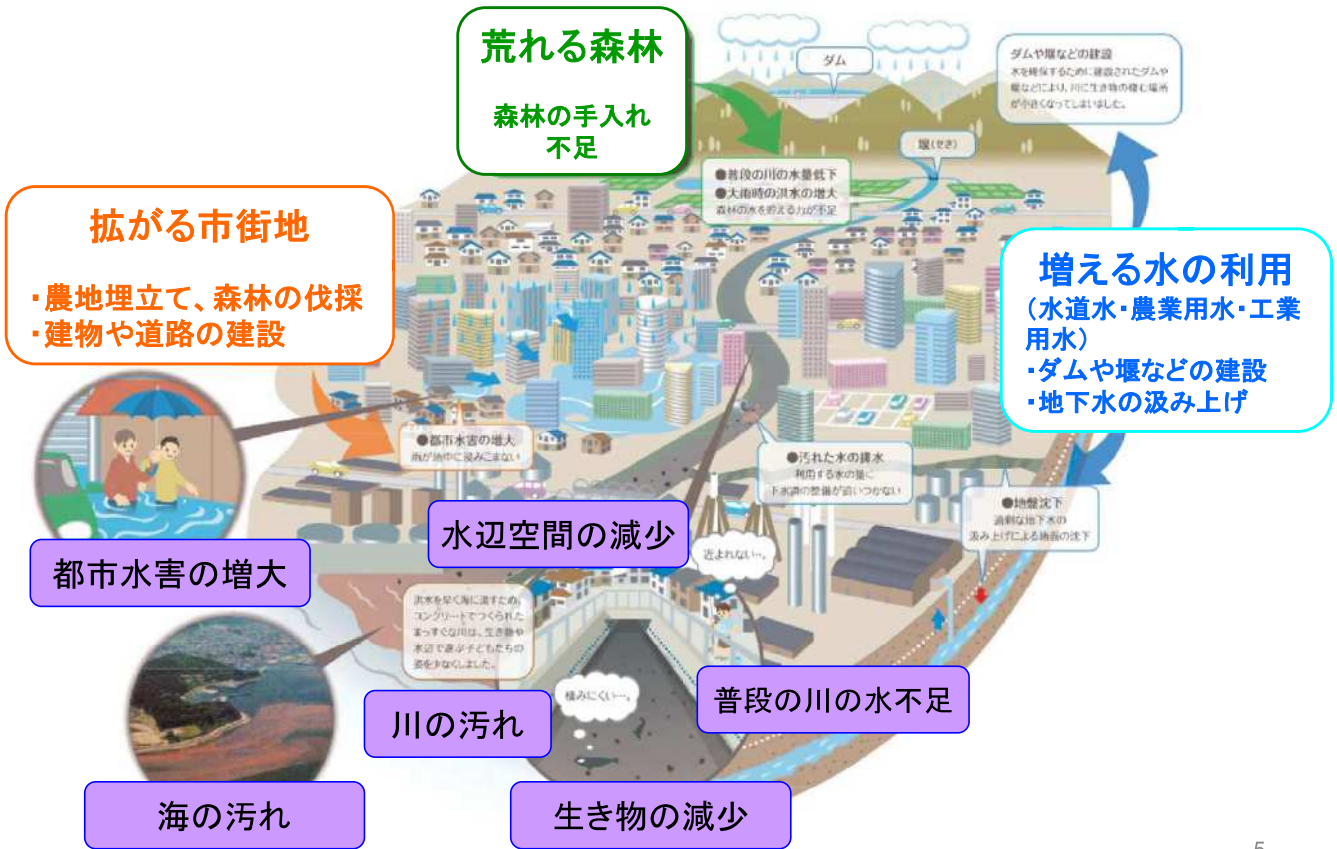
3

(1) 水循環のしくみ



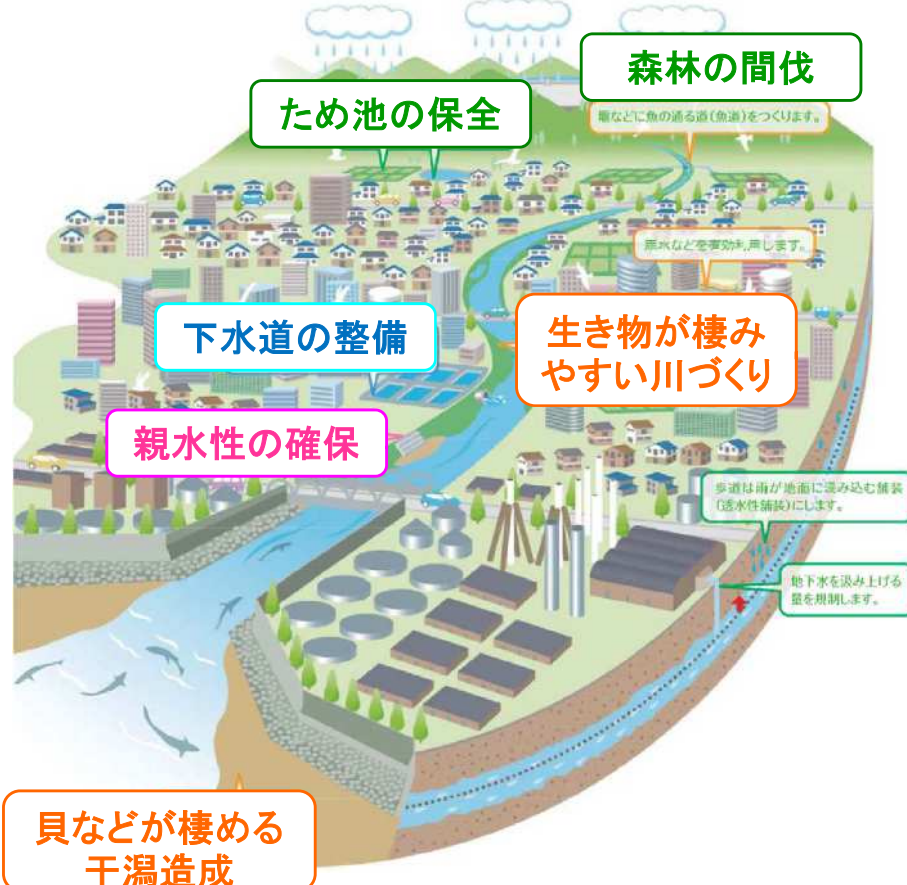
4

(2) 水循環の問題



5

(3) 健全な水循環を取り戻すために

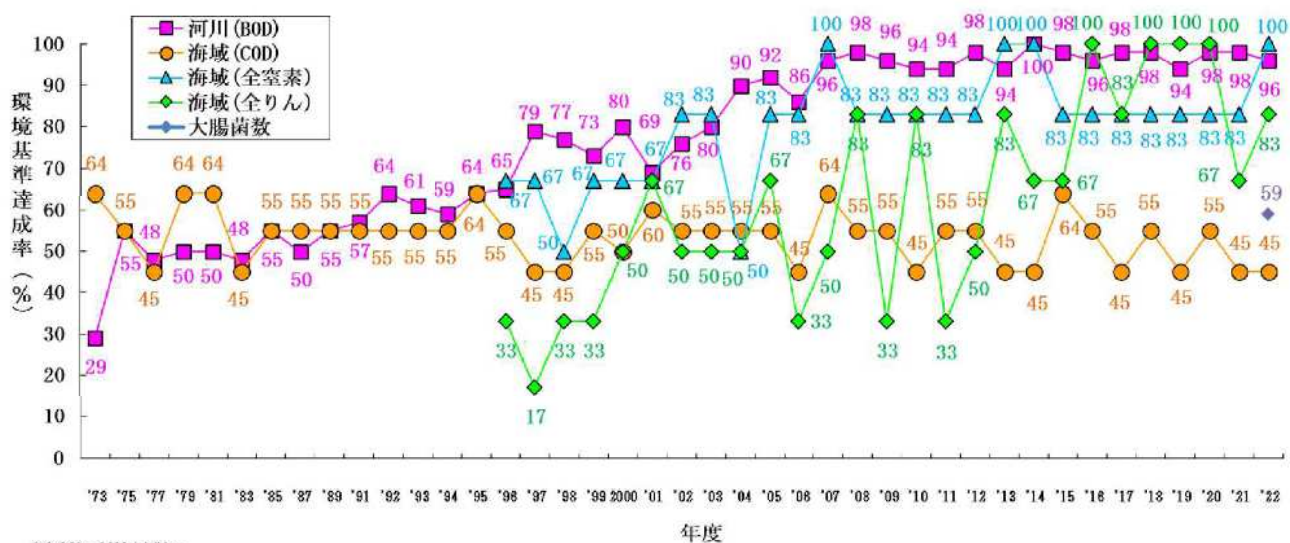


6

2 愛知県の水環境の状況

7

(1) 水質環境基準の達成率(県全域)



(資料) 環境局調べ

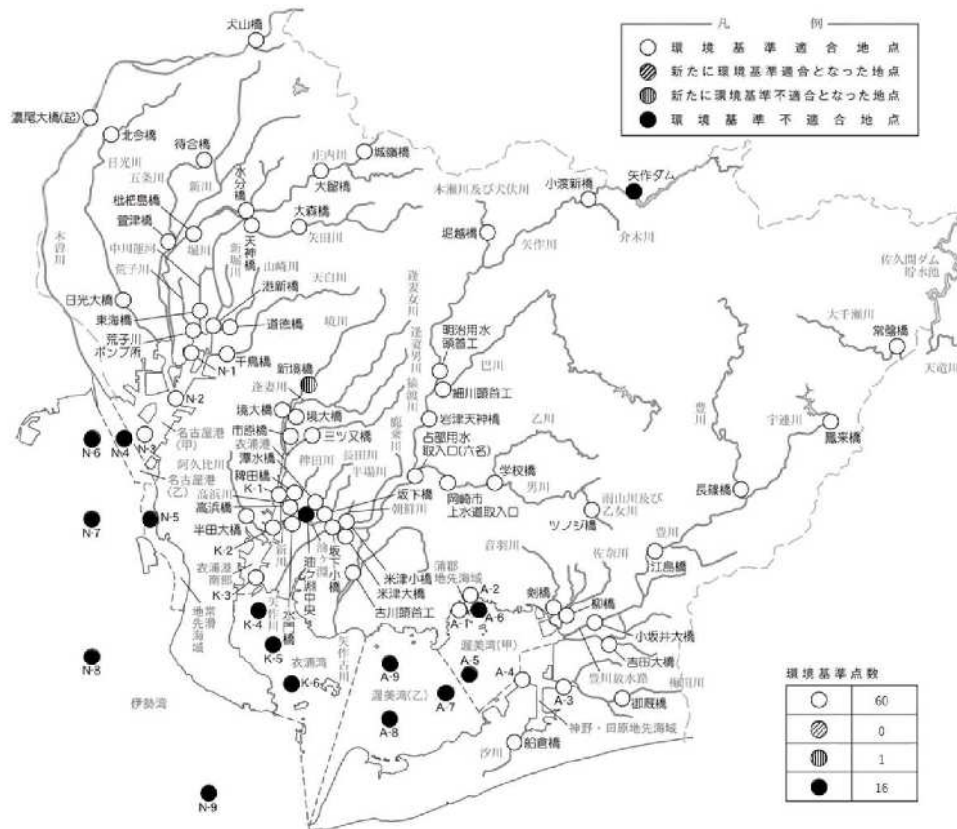
(注) 達成率(%) = (達成水域数) ÷ (総水域数) × 100

<達成率の長期的な推移>

- 河川のBODは改善傾向(ここ数年間は90%以上を維持)
- 海域のCODは概ね横ばい、全窒素及び全燐は改善傾向

8

(1) 水質環境基準の達成率(県全域)



(2) 赤潮の発生

赤潮 プランクトンが異常に増殖し、海や川、運河、湖沼等の色が赤色や褐色に変色する現象。



(3) 苦潮(青潮)の発生

苦潮(青潮)

海底付近の貧酸素水塊が、強い風などにより表層に湧き上がり、海面が青色に変色したり白濁する現象。魚や貝の大量死など大被害をもたらすことがある。



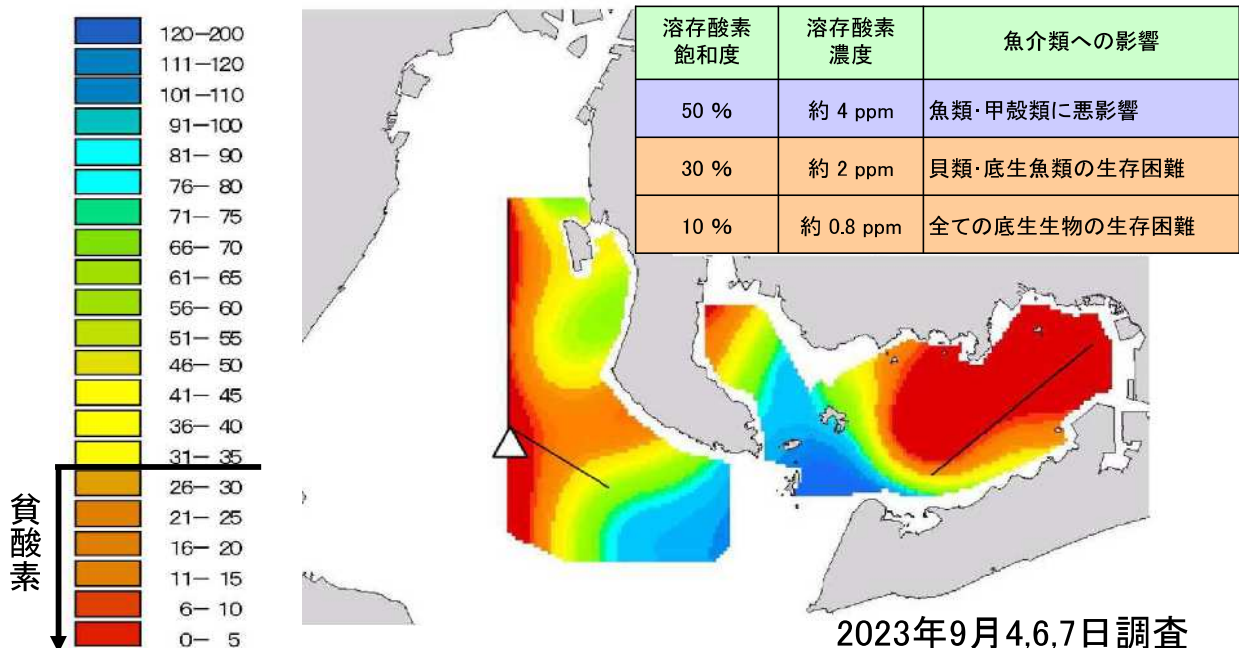
11

(4) 貧酸素水塊

貧酸素水塊

魚介類が生存できないくらいに溶存酸素濃度が低下した水の塊

溶存酸素飽和度(%) 県水産試験場では、30%以下の水域を貧酸素水塊と定義

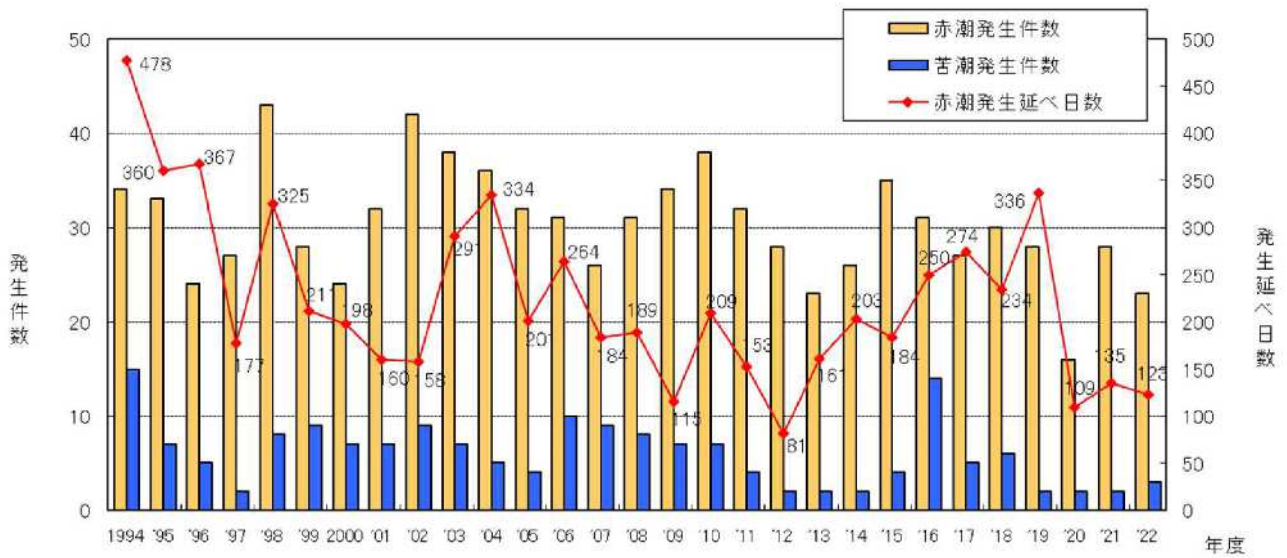


2023年9月4,6,7日調査

出典:伊勢・三河湾貧酸素情報(R5-12号) (愛知県水産試験場)

12

(5) 伊勢湾・三河湾の赤潮・苦潮の発生状況



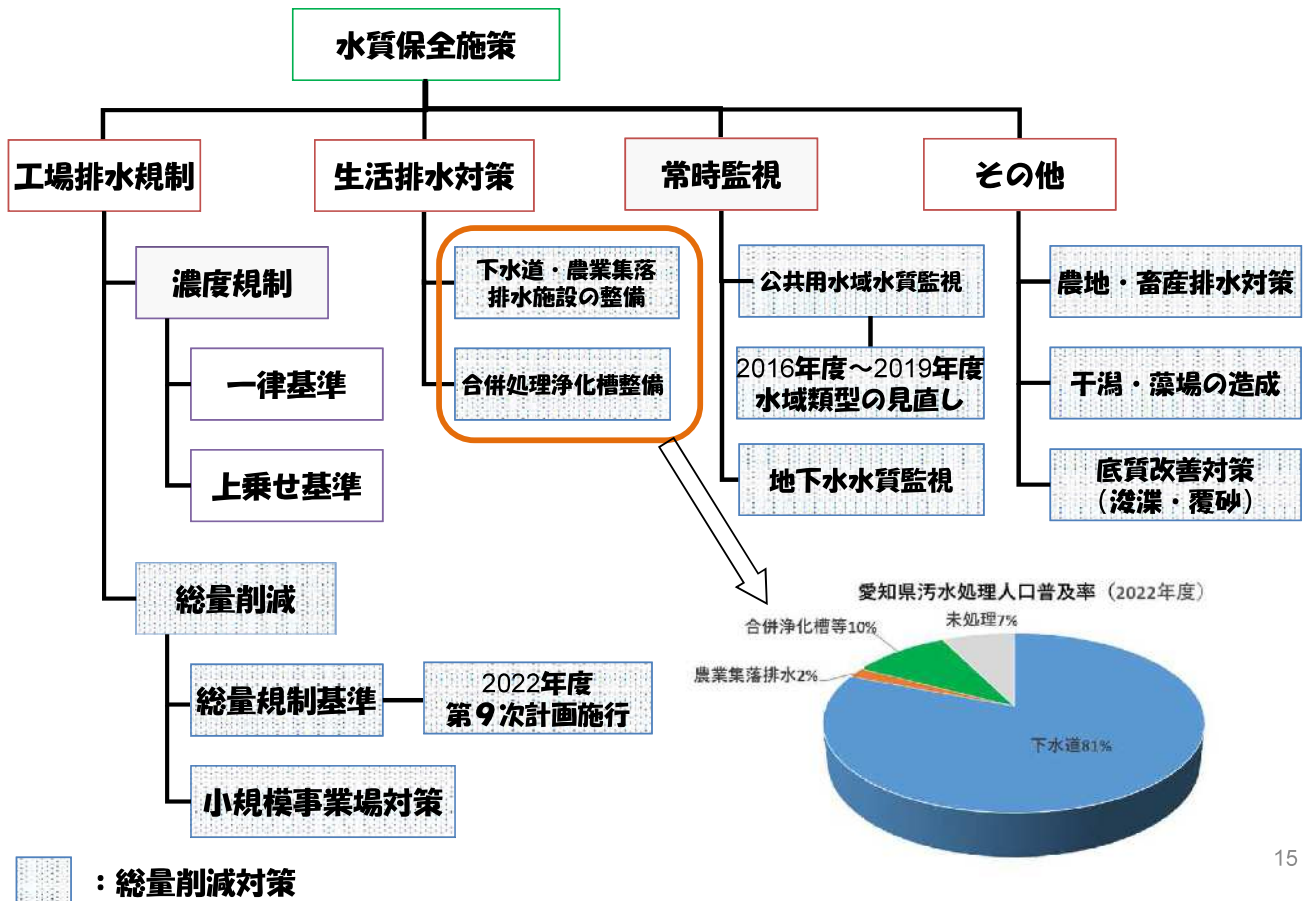
資料：農業水産局調べ

13

3 愛知県の水質保全施策

14

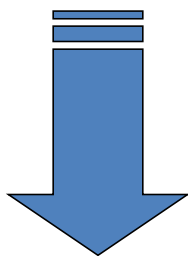
(1) 愛知県の水質保全施策



15

(2) 水質保全対策を進める上での視点の転換

場の視点



流れの視点

- 工場の排水規制などの限られた場所や、環境・治水・利水などの**限定した側面を捉えて**、各分野ごとに対策を実施

- 上流から下流までの水の流れを考慮し、**流域全体で水循環の機能に着目した取組**を総合的に実施

- 総合的な視点に立ち、**各主体が連携**して事業を実施

2006年3月に「**あいち水循環再生基本構想**」を策定

16

4 あいち水循環再生基本構想

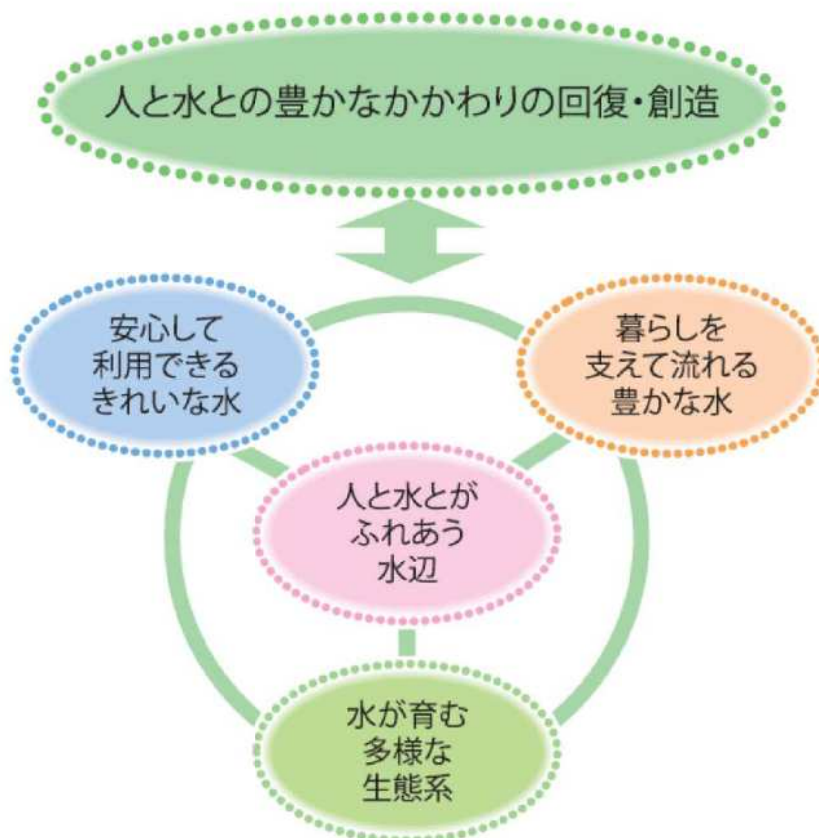
17

(1) 基本構想の「目標」と「めざす姿」

【目標】

人と水との豊かなかかわりの回復・創造

【めざす姿】



18

(2) 基本構想のイメージ

●取組の方向性イメージ図

取組活性化のための方策

- ① 環境学習の推進
- ② 情報の共有化
- ③ 県民・事業者・民間
団体・行政等の協働
- ④ 取組の検証・拡充

取組

【場所ごとのテーマ】

- ① 森林の整備・保全
- ② 農地保全
- ③ まちづくり
- ④ 海づくり

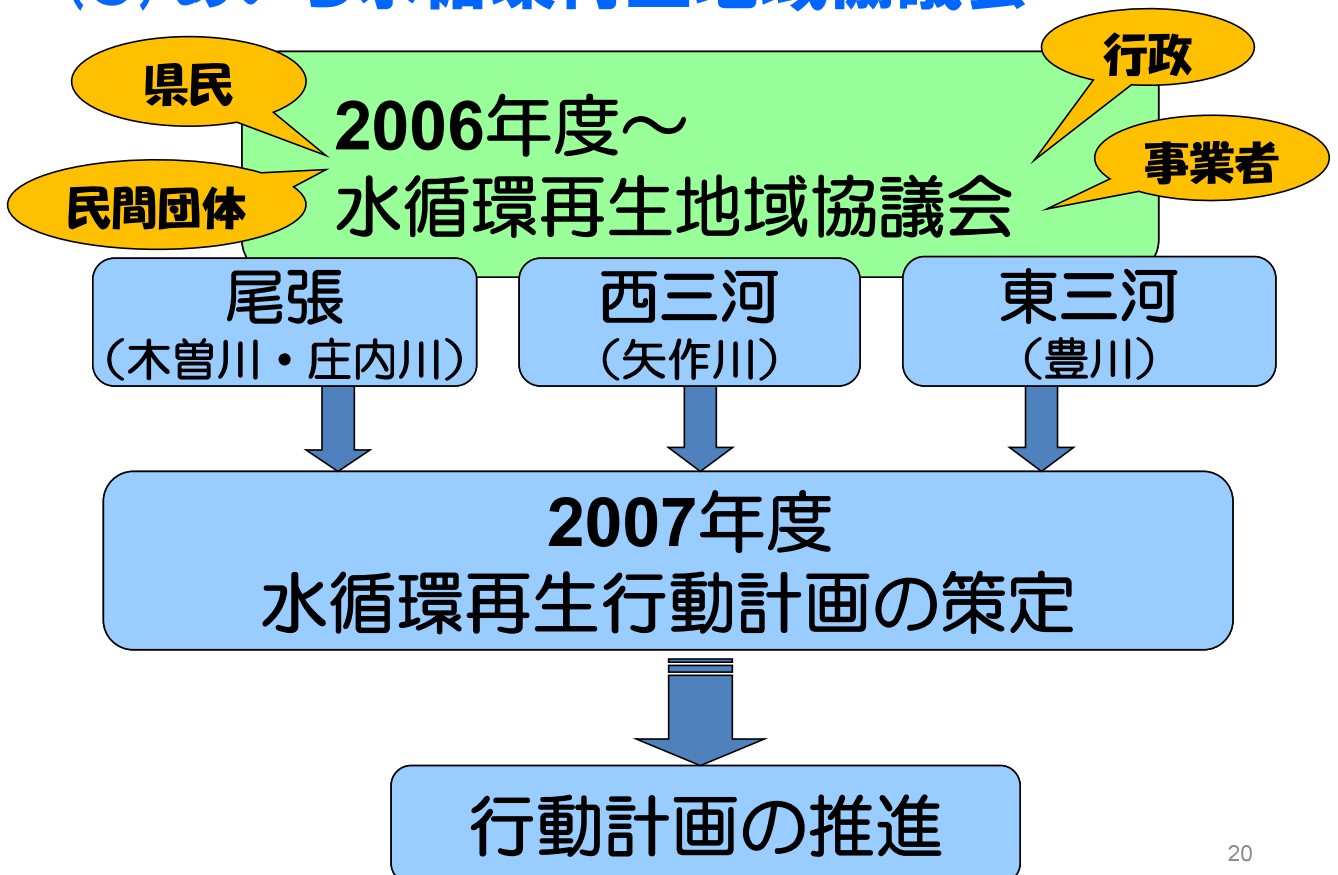
取組

【健全な水循環の機能】



19

(3) あいち水循環再生地域協議会



20

(4) あいち水循環再生地域協議会

水循環再生地域協議会

尾張
(木曾川・庄内川)

西三河
(矢作川)

東三河
(豊川)

- 2006年度から3地域ごとに毎年1回開催
- 水循環再生に関する取組・活動状況の総括、取組点検指標による行動計画の進捗確認、事例紹介、啓発活動の報告、構成員相互の意見交換、情報交換など

21

(4) - 1 尾張地域



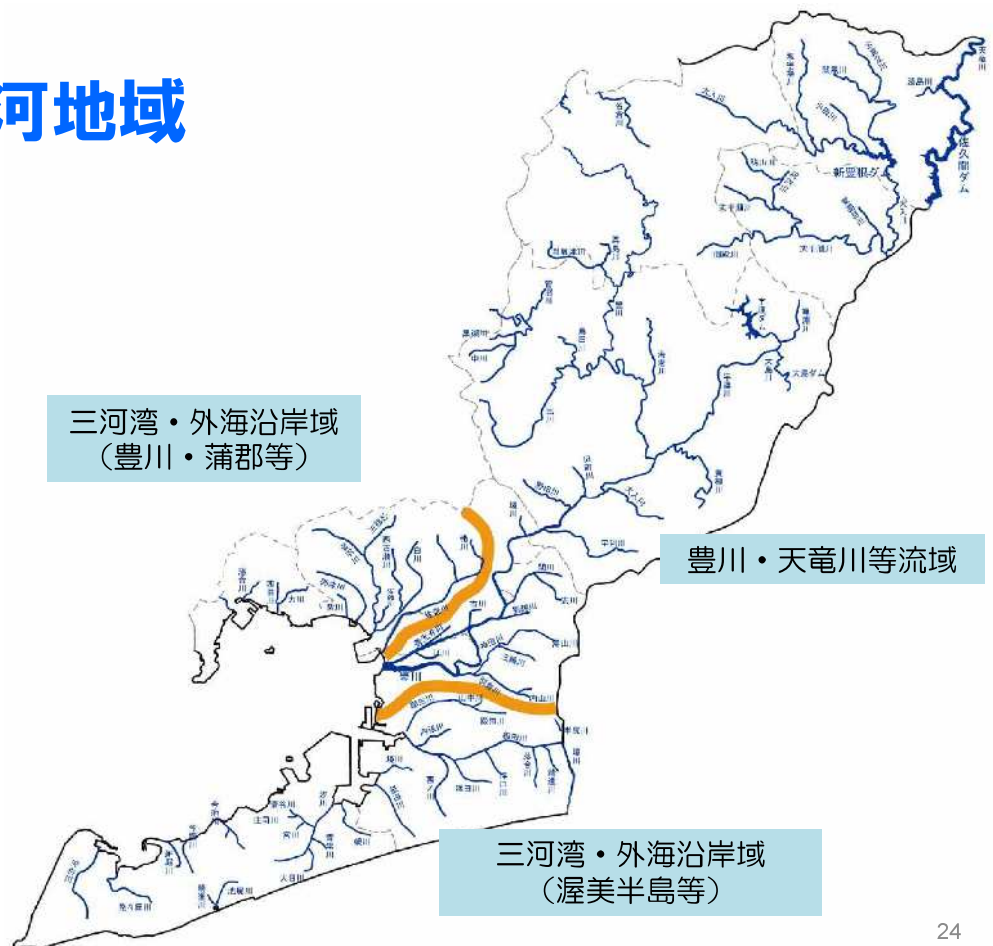
22

(4) -2 西三河地域



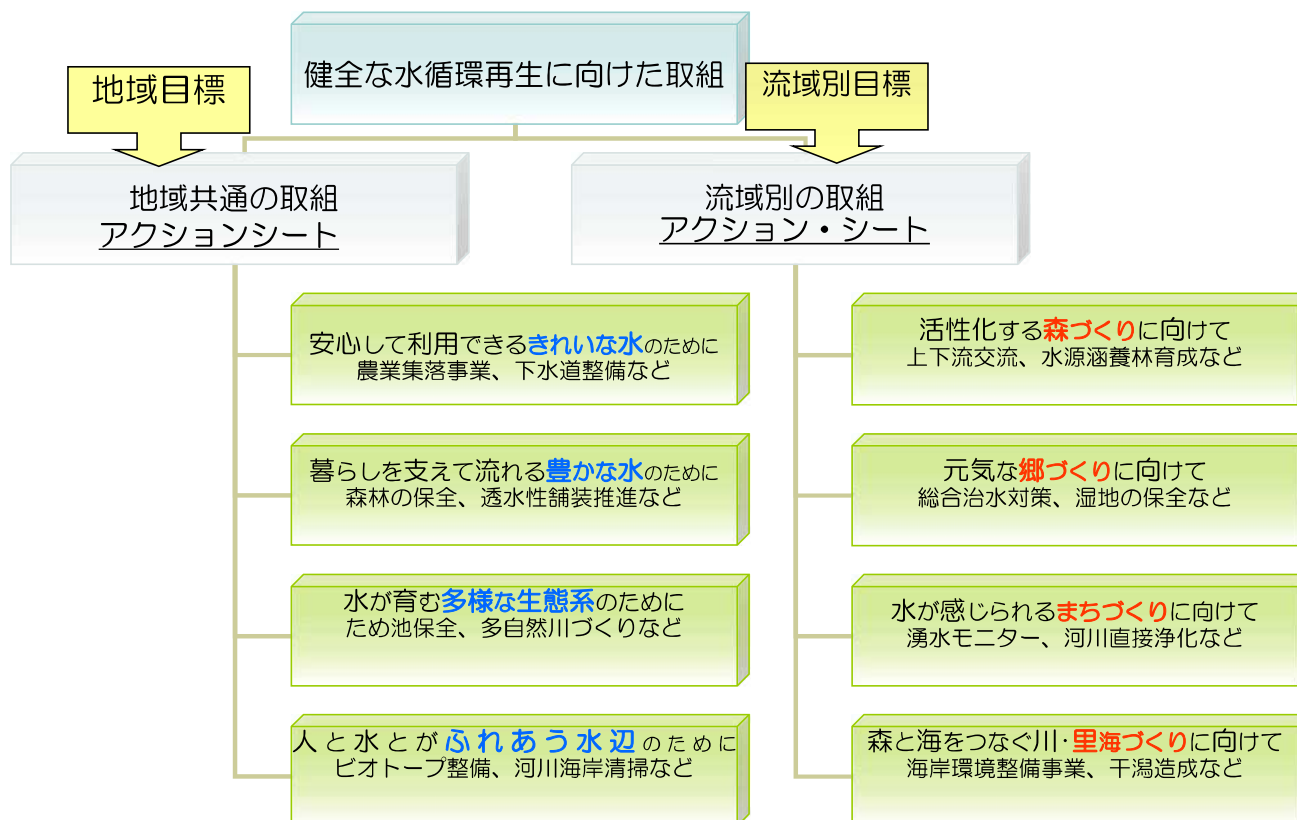
23

(4) -3 東三河地域



24

(5) 水循環再生行動計画の構成



25

(6) 現在までの協議会の経緯

- 2005年度 水循環再生基本構想 策定
- 2006年度 水循環再生地域協議会 設立
- 2007年度 水循環再生行動計画(第1次)策定
- 2008年度 取組点検指標 作成
- 2009年度 流域モニタリング一斉調査 開始
- 2011年度 水循環再生行動計画(第2次)策定
- 2015年度 水循環再生行動計画(第3次)策定
- 2020年度 水循環再生行動計画(第4次)策定

水循環再生行動計画(第4次)に基づく行動を実施

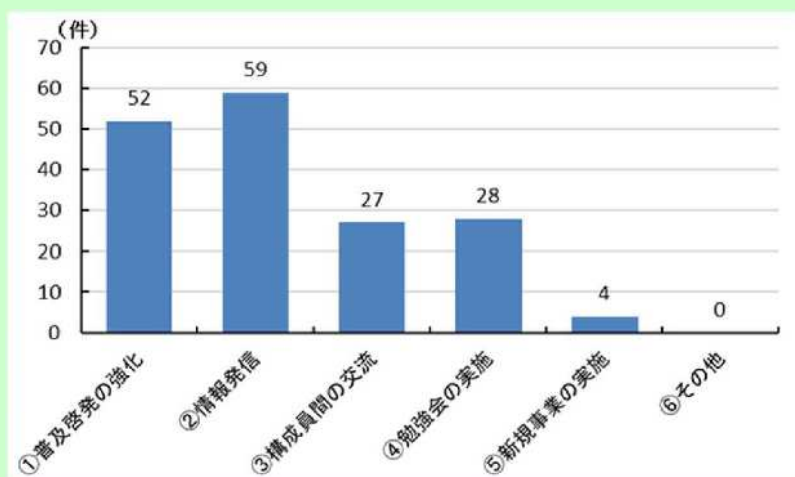
＜毎年度実施＞流域モニタリング一斉調査、取組点検指標による進捗確認、行動計画の見直し

26

(6) 現在までの協議会の経緯

2021年度に協議会構成員にアンケートを実施

水循環再生地域協議会の活性化に向けて、どのようなことに力を入れて取り組むとよいと思うか。3つまで選択可

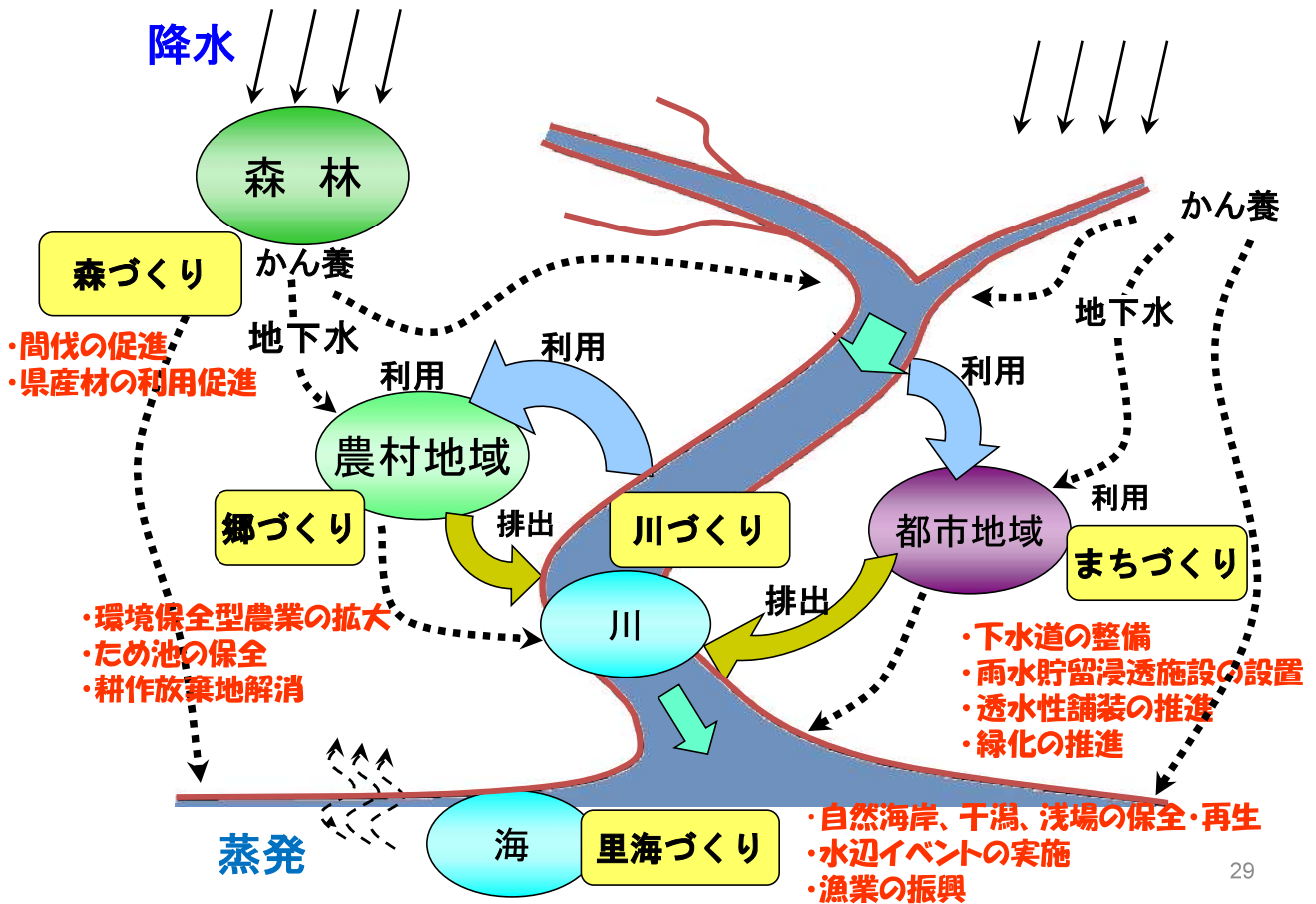


普及啓発、情報発信にも取り組んでいく。

2022年度から水循環をテーマとした実地での勉強会を開催

5 水循環再生のための取組

(1) 水循環再生の取組



6 流域モニタリング一斉調査

(1) 県民参加の取組

「流域モニタリング一斉調査」

(1) 水質(きれいな水)

水の汚れ(CODパックテスト)、水の色、濁り、におい、泡・油膜、水底の感触

(2) 水量(豊かな水)

水深、流れの変化、流速、湧水(過去に確認された場所のみ採用)

(3) 生態系(多様な生態系)

水質階級(水生生物調査)、魚の調査、植生調査(水際、水辺周辺)、鳥や昆虫の調査、外来種調査



(4) 水辺(ふれあう水辺)

透視度、ごみの状況、水辺の利用のしやすさ、水辺への近づきやすさ、水辺の自然度、水辺景観(心地よさ)、水辺での活動(①散歩、レジャー、②環境学習 ③環境保全活動)

31

(2) 流域モニタリング一斉調査の調査票

調査票

この票を提出する際には、調査地点のわかる地図を添付してください。

グループ名	調査日時	年 月 日	午前 午後	種 別
名 前	調査場所			川の種
	参加人数	人	天気	雨

水のきれいさ

観測項目	調査項目ごとの特点					評価	平均値
	5	4	3	2	1		
1.水の色	透明	中間	少し濁る	中間	濁りが多い	濁	点
2.水のにおい	悪くない	中間	少し臭い	中間	臭い	濁	点
3.水の濁り	透明	中間	少し濁る	中間	濁りが多い	濁	点
4.水底の状況	良好	中間	少し悪くなる	中間	悪くなる	濁	点
5.水の透明度	良好	中間	少し悪くなる	中間	悪くなる	濁	点
6.CODパックテスト結果	2mg以下	3mg以下	5mg以下	8mg以下	8mg以上	濁	点

水の量

観測項目	調査項目ごとの特点					評価	平均値
	5	4	3	2	1		
1.流れの速さ	速い	中間	少し遅い	中間	遅い	濁	点
2.流れの幅	広い	中間	少し狭い	中間	狭い	濁	点
3.水かさのようす	多い	中間	少し少ない	中間	少ない	濁	点
4.川の深さ	深い	中間	少し浅い	中間	浅い	濁	点
5.川の流速	速い	中間	少し遅い	中間	遅い	濁	点

備考 調査地点ごとの特点を記入してください。

生態系

調査項目	調査項目ごとの特点					評価	平均値
	5	4	3	2	1		
1.魚のようす	たくさんいる	中間	少し減っている	中間	減っている	濁	点
2.水辺の植物	たくさんある	中間	少し減っている	中間	減っている	濁	点
3.水辺の鳥	たくさんいる	中間	少し減っている	中間	減っている	濁	点
4.水辺の昆虫	たくさんいる	中間	少し減っている	中間	減っている	濁	点
5.外来種	少ない	中間	少し多い	中間	多い	濁	点
6.水質	I	II	III	IV	V	濁	点

水辺のようす

調査項目	調査項目ごとの特点					評価	平均値
	5	4	3	2	1		
1.ごみ	少ない	中間	少し多い	中間	多い	濁	点
2.水辺の利用	よく利用されている	中間	少し減っている	中間	減っている	濁	点
3.水辺への近づきやすさ	よく近づける	中間	少し減っている	中間	減っている	濁	点
4.水辺の自然度	自然	中間	少し人工的	中間	人工的	濁	点
5.水辺の景観	自然	中間	少し人工的	中間	人工的	濁	点
6.水辺の安全	安全	中間	少し危険	中間	危険	濁	点
7.水辺のレジャー	よく利用されている	中間	少し減っている	中間	減っている	濁	点
8.水辺の環境学習	よく利用されている	中間	少し減っている	中間	減っている	濁	点
9.水辺の環境保全活動	よく利用されている	中間	少し減っている	中間	減っている	濁	点
10.水辺の調査	よく利用されている	中間	少し減っている	中間	減っている	濁	点

備考 調査地点ごとの特点を記入してください。

32

(3) 流域モニタリング一斉調査の様子

水生生物の採取



パックテストの実施



透視度の測定



採取した水生生物



33

健全な水循環を再生するためには、
みなさんが実施している様々な取組を
長期的に継続して実施し、
相互に連携していくことが不可欠です。

34